

越 境 人

2014
SPRING

vol. 9

コリア国際学園 広報誌

特集1

コリア国際学園後援会の設立総会を開催 後援会設立記念シンポジウム～東アジア時代の次世代教育～

<パネリスト>

- ・ 朴 一さん(大阪市立大学大学院教授/KIS理事)
- ・ 寺 脇 研さん(京都造形芸術大学教授/KIS理事)
- ・ 鈴木邦男さん(政治団体・一水会顧問/KIS後援会設立発起人)

<コーディネーター> ・ 姜 誠さん(ルポライター/KIS監事)

特集2 第4期卒業生 学んだこと。感じたこと。伝えたいこと。

特集3 KISの新たな挑戦～ 国際バカロレア(IB)の導入へ

・ 新校長先生インタビュー



2 特集1 コリア国際学園後援会の
設立総会を開催

後援会設立記念シンポジウム～東アジア時代の次世代教育～

<パネリスト>

- 朴一さん(大阪市立大学大学院教授/KIS理事)
- 寺脇研さん(京都造形芸術大学教授/KIS理事)
- 鈴木邦男さん(政治団体・水会顧問/KIS後援会設立発起人)

<コーディネーター>

- 姜誠さん(ルポライター/KIS監事)

10 特集2 第4期卒業生
学んだこと。感じたこと。伝えたいこと。

- ・金蓮花(大阪大学外国語学部)
- ・姜瑜珍(<韓国>高麗大学社会学科)
- ・朴苑真(同志社大学グローバル・コミュニケーション学部)
- ・都愛珉(<米国>ハワイ東海インターナショナルカレッジ)
- ・金俊(立命館アジア太平洋大学(APU) 国際経営学部)

14 特集3 KISの新たな挑戦～
国際バカロレア(IB)の導入へ

16 ACTIVITY REPORT

ユネスコスクール活動で活躍する
KISの生徒たち
KIS生徒、韓国の科学シンポなどへの参加

18 NEWS REPORT

2013年度第4回卒業式を開催
KIS全員で竜王山ウォークを実施
大阪府立松原高校/富田林高校との交流
フットサル大会の実施/地元・小学校との交流

20 SPECIAL REPORT

KIS、フィジー共和国の高校と
日本初の交流協定を締結
義家弘介・文科大臣政務官がKISを視察訪問

21 新校長先生インタビュー



越境人 2014年春 第9号

・発行日 2014年3月31日

・発行 学校法人コリア国際学園

〒567-0057 大阪府茨木市豊川2丁目13番35号

TEL:072-643-4200 FAX:072-643-4401

E-mail:contact-school@kis-korea.org http://www.kis-korea.org/

※越境人は年2回の発行です。 ※本誌記事を無断で転載等する事を禁じます。



株式会社ダイゲン 代表取締役社長 梅村忠幸

〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央1丁目14番1号
TEL.06-6943-0081(代) FAX.06-6943-6370

第元観光株式会社

■プレジール森ノ宮店

〒540-0003大阪市中央区森ノ宮中央1丁目14番1号

TEL&FAX/06-6941-3344

■プレジール若草店

〒579-8056東大阪市若草町4番6号

TEL.072-987-2833 FAX.072-985-7465

株式会社プレジール玉串

■プレジール玉串店

〒578-0932東大阪市玉串町東3丁目3番6号

TEL.072-961-7800 FAX.072-962-9001

株式会社ブレイクスルー

■和食居酒屋 菜蔵

〒540-0003大阪市中央区森ノ宮中央1丁目14番1号

TEL&FAX/06-6943-0895

■九州料理 のぼせもん

〒537-0025大阪市東成区中道1丁目1番11号

TEL&FAX/06-6976-3355

■BAR GIORNATA

〒537-0025大阪市東成区中道1丁目1番14号

TEL&FAX/06-7860-3175

■釜のや。森ノ宮店

〒540-0003大阪市中央区森ノ宮中央1丁目14番1号

TEL&FAX/06-6910-6155

建学の精神

境界をまたぐ「越境人」に。

21世紀の国際社会は、グローバル化と情報化が加速する一方で、政治・経済・社会・文化のあらゆる面において、解決すべき人類共通の課題にも直面しています。とりわけ東アジアは、その集約的な地域のひとつとしてダイナミックな変化が予見される歴史的な転換期にあります。

こうした時代状況を未来に向けて切り拓いていくためには、なにより個性と多様性の尊重を基礎とした創造力の溢れる人間が求められています。言い換えれば、柔軟な発想と幅広いコミュニケーション能力を兼ね備え、問題解決能力に優れた人間の育成にほかなりません。

コリア国際学園(KIS)は、在日コリアンをはじめとする多様な文化的背景を持つ生徒たちが、自らのアイデンティティについて自由に考え学ぶことができ、かつ確かな学力と豊かな個性を持った創造的人間として複数の国家・境界をまたぎ活躍できる、いわば「越境人」の育成を目指します。

コリア国際学園(KIS)は、すべての教育活動を通じて相互の信頼と協同を深め、地域社会に根ざし、コリアにつながり、世界に開かれた国際学校として、世界と東アジアの持続可能な発展に貢献します。

教育理念

多文化共生

民族的アイデンティティと自尊感情を育むとともに、多文化共生社会の実現に向けた知識、技能、態度を身につけた人間を育成する。

人権と平和

人間の尊厳と民主主義を尊重し、世界平和を希求する普遍的価値を創造するとともに、地球的視野を持ち、持続可能な社会の構築に貢献できる人間を育成する。

自由と創造

真の自由を理解し、豊かな個性と多様性を基礎とした創造力の溢れる人間を育成する。

◆ 校章・シンボルマーク ◆

目であり
宇宙であり
太陽であり地球であり
そして みつめていて、考えていて
そして いつも ゆれている



◆ デザイン・文 ◆

黒田 征太郎 Seitaro Kuroda
(イラストレーター)

くろだ・せいたろう ● 1939年大阪府生まれ。
'92年にNew Yorkへ移住。イラストレーターとしてポスターや挿し絵で数々の賞を受賞するとともに、壁画制作、ライブペインティングなど幅広いアーティスト活動を展開。コリア国際学園の発起人のひとり。

◆ コメント ◆

色は 中心が 赤(火)(光)
その外が 黄(アジア)
その外が 草色(地)
その外が 青(天であり水)
としました

コリア国際学園後援会の 設立総会を開催

コリア国際学園（KIS）後援会の設立総会が、2013年9月28日、大阪市内のホテルで支援者や学校関係者など約100名が参席する中、開催されました。KISの財政的基盤を強化し、会員間の親睦と交流を深めることを目的とした後援会は、一昨年6月に「発足に向けた集い」が行なわれ、この間準備が進められてきました。

この日総会の1部では、最初にKISの紹介DVDの放映に続き、「東アジア時代の次世代教育」をテーマに記念シンポジウムが行われました。パネリストとしてKIS理事の朴一氏（大阪市立大学大学院教授）と寺脇研氏（京都造形芸術大学教授）に加えて、鈴木邦男氏（政治団体・一水会顧問）が登壇しました。ルポライターの姜誠氏がコーディネーターを務めました。

2部の懇親会の会場に場所を移した後、後援会の役員が紹介され、代表して名曲「喝采」や「北酒場」で知られる作詞・作曲家の中村泰士先生が初代の会長として力強い就任挨拶を行ないました。その後、本学園の宋在星理事長が挨拶に立ち、「未来を担う子どもたちの教育を支えるために後援会に大きな期待を寄せている。よろしくご支援ご協力をお願いします」と述べました。続いて、設立発起人の一人でもある染織家の人間国宝・志村ふくみ先生からも温かい激励の挨拶を受けました。

懇親会はKISの地元の茨木市議会の中村信彦議員の乾杯挨拶のあとテーブルごとに分かれて華やかな雰囲気の中で交流と親睦が行なわれました。後援会の設立は本学園の発展に向けた大きな礎石となるでしょう。ここでは記念シンポジウムと後援会についてレポートします。



コーディネーター 姜誠
早稲田大学教育学部卒業。2002年サッカーワールドカップ外国人ボランティア共同世話人、定住外国人ボランティア円卓会議共同世話人、文化庁文化芸術アドバイザー（日韓交流担当）などを歴任。著書に「5グラムの攻防戦」「越境人たち六月の祭り」「竹島とナショナリズム」など。



パネリスト 鈴木邦男
早稲田大学政治経済学部卒。学生時代から右翼・民族運動に関わる。1972年に「一水会」を結成。1999年まで代表を務め、現在は顧問。既存の「右翼」思想の枠にあてはまらない独自の主張を展開。著書に「愛国者は信用できるか」「失敗の愛国心」など多数。



パネリスト 朴一
同志社大学大学院博士課程修了。商学博士。専攻は朝鮮半島の政治と経済。日韓、日朝関係論。数多くのテレビ、ラジオ番組でコメンテーターなども務める。著書に「＜在日＞という生き方」「朝鮮半島を見る眼」など多数。



パネリスト 寺脇研
東京大学法学部卒。75年文部省入省。文部省初等中等教育局職業教育課長、広島県教育長、大臣官房審議官などを歴任。著書に「韓国映画ベスト100」「2050年に向けて生き抜く力」など多数。

後援会設立記念シンポジウム 東アジア時代の次世代教育

朴一氏（大阪市立大学大学院教授/KIS理事）
寺脇研氏（京都造形芸術大学教授/KIS理事）
鈴木邦男氏（政治団体・一水会顧問/KIS後援会設立発起人）
姜誠氏（ルポライター/KIS監事）

姜誠 数年前には東アジア共同体の必要性についても盛んに語られた時期がありました。最近の日韓、日中関係は戦後最悪な状況とも言われています。今のアジア情勢をどのように感じておられますか。

鈴木邦男 大阪・鶴橋で「在日特権を許さない市民の会」（略称「在特会」）の集会有り、14歳の女子中学生が「いつまでも調子に乗ったたら南京大虐殺やなくて、鶴橋大虐殺を執行しますよ」という演説をした事件がありました。ほとんどの日本人は、この事件を知らない。テレビでも報道しないし、ネットでもよほどの関心のない人しか見ない。その後、台湾、韓国、中国のテレビ取材を受けたのですが、各国の記者たちは「日本人は、この事件があったこと

を知らなさすぎる」と批判していました。

世界中のネットユーザーはこの事件をよく知っているし、特にアジアの人たちにとっては、それが日本のイメージの一つになっていくのです。日本のマスコミは、こうした事件を報道すると一部の視聴者たちから逆にクレームや抗議がくるからできないと。いつまでも歴史的事実をなかつたかのようにして蓋をするから、ほとんどの日本人がこういう事件を全く知りません。

「在特会」のような下品な行動に右翼は加担していません。一部の心な

い声が日本のイメージの低下につながる。最近、ヘイトスピーチ問題が顕在化するなかで、国会議員や警察も動き出しているが、最終的に法律や政治力で何とか阻止しようとしてもこの動きは消えることはないだろう。根気強く反対と是正の声を上げて訴えていくことが重要だと思います。

朴一 ご存知の通り、鈴木さんは右翼の活動家、寺脇さんは元文部官僚ですから、お二人ともある意味では国を背負って生きてこられたとも言えますが、私は韓国籍ですが韓国では韓国人として認められていないと感じるし、日本でも日本国民として生きていくという自覚がありません。

今、ものすごい勢いで経済のグローバル化が進んでいる一方で、政治におけるナショナリズムも増長してきています。経済がグローバル化するなかで、国家は溶解する寸前ですから、何とか強力なナショナリズムを作って生き残ろうとする。その象徴が安倍政権の誕生でした。安倍政権は強い日本をもう一度よみがえ



KISではいろんな視点を持ちつつ複眼思考ができる子どもたちを育成してほしい（朴一）

国家を相対化しバランスをとりながら、どのように「越境人」として生きていくのかは、ものすごく重要なテーマです。ですから、経済のグローバル化と政治のナショナリズムに挟撃されるなかで、KISの子ど



もたちは日韓・日中の摩擦を回避し、
どのようにして平和な世の中を構築
していくのかについて、自分の立ち
位置を探しながらもがいている子ど
もたちだと思っております。

KISの設立に尽力した故金敬得
弁護士のある種の「遺言状」は一つ
の国に属さない、いろんな視点を持
ちつつ複眼思考ができる子どもたち
を育成してほしい、というものでし
た。日本社会の少子高齢化が急速に
進むなかで、日本は日本人だけでは
生き残っていけない。韓国も韓国人
だけでは生き残っていけない。少子

高齢化社会を生き残っていくために
は、外国人を受け入れていかなけれ
ばならない。

「在特会」の存在やヘイトスピーチ
は多文化共生社会に移行する過程で
生まれてくる葛藤、摩擦、膿のよう
なものだと思います。それを乗り越
えたときにどういう未来の日本があ
るのか。日本の未来に向かってKIS
で育った子どもたちが何とこの
国をまともな国にしてくれるのでは
ないか(笑)。

寺脇研 昨年(2012年)、坂口安
吾の原作をもとに「戦争と一人の女」

「お・も・て・な・し」とか言っている
けれど、ヘイトスピーチしながら、
「おもてなし」ですか(笑)。僕は、

鈴木さんに負けないくらい日本のこ
とが好きだし、日本は美しくあって
ほしいですが、だからといって「美
化」してはいけないですよ。

大阪では、全国学力テストの45
番、46番の順位を上にあげると大騒
ぎしています。静岡県知事もそうで
すが、そうした考えが根本的におか
しいわけですよ。沖縄は47番目です
が、沖縄は上位に行こうと言わな
い。誰かが「上」にいけば、誰かが
「下」になるということを分かって
いるから。「上」に行くことばかり
やっていけば、他国で起こった良い
出来事を「良かった」なんて思える感
性など育たないわけ。

姜誠 最近、若い人たちがとても安
易に「国家」を背負い「国家」を代表
するかのようになり追いつめてい
く場面を見ることが少なくありませ
ん。なぜ、こんなにナシヨナリズム
がぶつかりあう状況になってしまっ
たのか、と疑問に感じるので。

高年齢化社会を生き残っていくために
は、外国人を受け入れていかなけれ
ばならない。
「在特会」の存在やヘイトスピーチ
は多文化共生社会に移行する過程で
生まれてくる葛藤、摩擦、膿のよう
なものだと思います。それを乗り越
えたときにどういう未来の日本があ
るのか。日本の未来に向かってKIS
で育った子どもたちが何とこの
国をまともな国にしてくれるのでは
ないか(笑)。

国家の失敗や忌まわしい点について正面から見た
くない臆病な人たちがヘイトスピーチをする(鈴木)

という映画を作りました。この8月
15日からソウルで上映会があり、そ
のキャンペーンでマスコミ取材を受
けるために韓国に行きました。今回
は本当にたくさんメディアからイ
ンタビューを受けました。こんな緊
迫した日韓関係のときに日本の映画
をやる、しかも戦争の映画だから。
アジア太平洋戦争で日本が謀略の
限りをつくして中国をはじめアジア
諸国に悪いことをした。それは天皇
の名のもとに日本人みんながやった
もので、「俺はやってない。その時
は知らなかった。産まれていなかっ
た」では済まされない話として描い
ています。

韓国のメディアからは勇気があり
ますね、とよく言われるのですが、
日本は憲法で表現の自由が保障され
ている民主主義の体制だから、どん
な映画や話を作ろうが警察に捕まっ
たり社会から排除されることはない
ので、あなた方は誤解しているの
はないか、と言います。

日本のなかでもいろんな考え方、

「上」に行くことばかりやっていけば、

他国で起こった良い出来事を

「良かった」なんて思える感性など育たない(寺脇)

れません。メディア全体が、そうし
た雰囲気です。なぜ、こんな雰囲気
になったのでしょうか。

朴一 先日出演したテレビ番組は「東
京裁判」をテーマにした内容でし
た。タレント陣の一人が、こう言
いました。「人を殺すのが戦争だ。むし
ろ人を殺さないといけない。なぜ日
本人が人を殺したことを理由に東京
裁判で罪を問われて処罰されなけれ
ばならないんだ。むしろ裁かれるべ
きはアメリカであり、大阪、東京で
の大空襲や広島、長崎に原爆を落と
して大量虐殺をした」。

とんでもない番組に出ている私自
身も情けなかったけれど、ひとつだ
け学習したことがあります。その番
組に出演している、ある人と別の番
組で対談してつくづく分かったこと
がありました。中国や韓国に過剰
な敵意を示す人たちのなかにあるの
は、実は過剰な被害者意識です。「も
し日本があの戦争に負けさえしなけ
れば、中国や韓国にこんなに非難を
されることはない」と。それを聞い
たときに、別世界の人間だなと感じ
ました。しかし、そういう人たちが
視聴率をとって支持され、メディア
に取り上げられる。

バランスよく議論できる状況が、

受け止め方があるので一部の報道だ
けで、「日本人は過去のことを誤魔
化そうとしている」と言うのもどう
か。一方で、たとえば日本で大ヒッ
トした宮崎駿監督の「風立ちぬ」とい
うアニメ映画ですが、韓国のメデイ
アは「あの映画はつまらないよ」と
いう評価でした。1920年代から
1940年代まで描いて、ドイツや
イタリアに憧れたという話は散々出
てくるのですが、アジアからの視点
は全くない。韓国の国民がそれを見
て怒っているかといえば全然そう
もなく、つまらない映画だという評
判です(笑)。

オリンピックの東京開催が決まり
日本では大騒ぎですが、私が「トル
コでやったほうが良かった」なんて
言ったら、また大変なことになりま
した(笑)。本当は世界のことを考え
れば、オリンピックの開催を通じて
イスラム圏の人々が何を考え、どん
な暮らしをしているのかを発信する
ほうが、よほど世界平和につながる
と思うけれどね。



どのように歴史の溝に折り合いをつけ、どのようににも生き残っていくことができるのか、を考えなければならぬ時代です(朴一)

どんな減っていることに大きな危機感を感じています。ごく普通の中国人のなかにも実は、日本に対する愛情を持つ人もいるし、韓国人のなかにも日本の映画や歌謡曲を好きな人たちがたくさんいます。

ほとんどの人たちは健全な意識を持っていて人ではないか。少なくとも私が教えている大学生たちの多くは、もつと大局的な視点からアジアを見ているし、どのようにしてアジアで生き残っていくかを考えています。中国を敵に回して日本が生き残れるわけがない。日本の企業が中国を手放すことなどできるはずがないですよ。関西の家電メーカーは中国との関係を失えば総崩れです。どこかで韓国人も中国と折り合いをつけながら、自分の生きる術を探している。国家の利害なんて私から見れば微々たるプライドです。

今はどのようにして歴史の溝に折り合いをつけ、どのようににも生き残っていくことができるのか、を考えなければならぬ時代です。た

とえば、独島問題にしても基本的には漁業の問題ですから、回遊資源をどのように保護しながら共通の利害として次の世代にこの資源を残していくことができるのかという視点から考えれば、自ずと解決に向けた知恵が出てきますよね。そういう発想を持つ次世代をKISから育ててほしい。

寺脇研 私はもともと鹿児島、薩摩の出身です。NHK大河ドラマ「八重の桜」をご覧になれば分かりますが、明治維新後の日本国内だって薩長とアイヌが戦ったときは、虐殺、暴行があつたわけですよ。でも、今はさすがにそうはならない。大事なことが二つあります。ひとつは、和解には時間が必要だということ。つまりアイヌと薩長の間は140年ほどかかりましたが、日韓、日中関係は戦後60、70年ですから、まだ共有しにくい部分があるのだと思いますね。

アジア共同体に言及するときに、当然イメージとして描いているの

姜誠 KISの建学の精神は「越境人の育成」にあります。KISの目指すべき方向、KISに望むことについてお聞きしたいと思います。

朴一 最近、私は日本の右翼の人に興味があり国のために命を捨てても自分の信念を曲げないという、たとえばガンジーも含めてナシヨナリストとは一体なんだったのだろうか、と考えるときがあります。私自身はどこかの国のために命を捨てたくない人間ですし、どれか一つの国家に軸足を置いて生きていくことは、生きづらいという気がしています。



私は日本で韓国籍の「在日」として生まれたことを恨んだ時期もありましたが、今は逆によかったと思えるようになってきました。私は韓国に行けば、日本について説明しますし、日本のメディアには韓国のことについて説明します。日本が韓国人の立場を理解し、韓国も天皇制も含めて日本人の立場を理解するよう、相互理解を促していく役割を担うのが越境人ではないでしょうか。

先ほど、KISの紹介DVDのなかで、三ヶ国語のスピーチ大会の様子が出されていましたが、韓国語、日本語、英語でそれぞれ話すと

は、ヨーロッパ共同体ですよ。しかし、ヨーロッパの人々は今後、経済成長はそこそこにすればいいと思っているようですが、アジアの人々は経済成長をたくたくしたくないのです。日本ですら、まだ成長したいし、韓国や中国ももっと成長したい。東南アジアでは、この国も成長したいと思っています。でもなかなか難しい。ヨーロッパがそうであるように、21世紀は経済成長を競争する時代ではないことに気づけばいいが、気づかない状態のままアジア共同体を構想するのは難しいで



すね。今KISにいる子どもたちは22世紀まで生きる可能性があります。日本にも100歳以上の方が何万人といるわけですから。そこまで考えれば、また新しい歴史的教育や記憶を「上書き」していく必要があります。薩長とアイヌの関係も「上書き」があつて現在があるわけだから。経済成長をしなければならぬという呪縛は、わりと早く思い知らされるとは思いますが。だから未来は開けているけれど、現状はできていないというののあたり前の話かもしれませ

新しい歴史を「上書き」していくことが、双方の信頼関係を作っていくうえで非常に大事だ(寺脇)

きは子どもたちも、それぞれの立ち位置に自分を立てながら話をするでしょう。ナシヨナリズムでもなく、インターナシヨナリズムでもない、第三者のポジシヨンのようなものを作っていく、「越境人」という本当の意味をどこまで深めていけるか、教育のなかでどう還元できるのか、これはすごく難しいですよ。

特に歴史教育は、どこの国も絶えず自分たちの国を美化していくために仮想の物語が作られていきます。どうして仮想の物語が作られていくのか、その背景を教えるぐらいの歴史教育が必要だと思います。国が作るうとする仮想の物語にあがないながら、私たちが民衆としての視点をどう提供していけるのか、そのせめぎ合いのなかで人間は生きていかざるをえない。日本人とか韓国人とかを越えて、「民」として生きていく視点をKISの子どもたちに伝えていってほしい。

寺脇研 KISと関わるようになってきたきっかけは、部落解放同盟の方々の付き合いからです。彼らは日本社会のなかについて差別されている

それも含め全部トータルで日本社会が成り立っているわけだから彼らとも付き合わない仕事にならない。そのなかで彼らから「オレらよりおっかないヤツらを紹介したる」と紹介されたのが、「在日」の方々だったのです(笑)。

「在日」の人たちも日本社会で暮らして、日本に税金を収めているわけだから、差別するのはおかしいと考えるようになったのです。日本の役人は日本国憲法に宣誓をするのであり、金持ちの人のためだけに働いてもまずいし、だからといって貧しい人のために働かなければならない。差別をなくしていくためには「上書き」をすること、記憶や歴史の「上書き」が大事なのではないかと思えます。日本と朝鮮半島の歴史、たとえば植民地支配や拉致問題も一つの歴史と現実。こうした問題を忘れるのではなく、そのうえに何を「上書き」していくのか、過去の歴史は絶対に残っていく、その後の歴史も必ず残っていくのだから。

日本と韓国の付き合いは1965

後援会長からのメッセージ



会長 中村泰士

作詞・作曲家としてミュージシャン、シンガーを夢見て輝く瞳の若者たちに出会って来ました。コリア国際学園後援会発起人の集いの日、学園に学ぶ生徒たちのDVDがオンエアされ、そして「越境人」という言葉に触れ、生徒たちの笑顔に胸が熱くなったこと、今も忘れていません。そして今回後援会会長として深く関わられることをうれしく思います。

かねがね私は「We are Asian」ということを訴えてきました。アジアの平和と安定が日本にとって非常に有益であり、この地域の文化と芸術交流がどんどん活性化することが日本社会を豊かにするという考えです。コリア国際学園の建学の精神である「越境人の育成」はそのような私の考えとぴったり符合しました。この学園で学び育った生徒たちが日本とアジア、そして国際社会との懸け橋となり、私たちの世代が積み残した様々な問題を解決するだけでなく、持続可能な社会の実現に大きく貢献してくれるものと信じています。

このたび初代後援会会長を引き受けることにより、コリア国際学園を物心両面で支えていく所存ですので、どうかご支援・ご協力を心から申し上げる次第です。

プロフィール 作詞・作曲家。代表曲に「喝采」(ちあきなおみ)、「私の青い鳥」(桜田淳子)、「心のこり」(細川たかし)、「北酒場」(細川たかし)、「そしてめぐり逢い」(五木ひろし)など多数。著書にエッセイ「まがってシャン!」、「うつを超えた39のモノローグ」

発起人からのメッセージ



瀬戸内寂聴

私は現在の地球上に生きるどこの国の子供達も一人残らず、お腹一杯食べられて、十分な教育を受けられ、互いの国から戦争がなくなることとかねがね思っていました。コリア国際学園の教育の理念と建学の精神は、私の考えにまったくぴったりです。

後援会役員

- 中村泰士 (作詞・作曲家)
- 金明弘 (株式会社成学社 代表取締役社長)
- 鄭昌男 (明邦化学工業株式会社 代表取締役会長)
- 作井文子 (株式会社海風社 代表取締役)
- 南川恵美子 (コリア国際学園 保護者会会長)
- 梅村忠幸 (株式会社ダイケン 代表取締役社長)
- 呉武彦 (株式会社ミアプロ 代表取締役)
- 呉幸哲 (一般社団法人兵庫商工共同組合 呉税理士事務所)
- 李民男 (株式会社朋栄 代表取締役)
- 林範夫 (一心法律事務所 弁護士)
- 洪敬義 (コリア国際学園 専務理事)

後援会発起人

日本

- 徳山詳直 (京都造形芸術大学理事長、東北芸術工科大学理事長)
- 志村ふくみ (染色家、人間国宝)
- 瀬戸内寂聴 (小説家、僧侶)
- 上田正昭 (京都大学名誉教授、歴史学者)
- 平田オリザ (大阪大学教授、劇作家)
- 野中広務 (元内閣官房長官、元自民党幹事長)
- 鈴木邦男 (政治団体「一水会」顧問)
- 澤地久枝 (ノンフィクション作家、「九条の会」呼びかけ人)
- 佐高信 (評論家)
- 中島岳志 (北海道大学准教授)

韓国

- 丁世欽 (元韓国統一部長官、元光復会総長)
- 李光奎 (元韓国在外同胞財団理事長、ソウル大学名誉教授)
- 李長熙 (韓国外国語大学教授)
- 鄭根植 (ソウル大学教授)
- 金泰昌 (公共哲学共働研究所所長、哲学者)

北米

- Tae Hoon.Oum (カナダ・プリテッシュコロンビア大学教授、UPS財団チエアーフロフェッサー)

※設立発起人として後援会の設立に尽力していただいた水谷幸正先生(佛敎教育学園元理事長)が今年2月7日にお亡くなりになりました。心より哀悼の意を表しご冥福をお祈り致します。



年の日韓条約以降のことだし、韓国と北朝鮮は、いまだに付き合っていないわけですから「上書き」ができていない。それができないとかつての悪い時代の歴史しか残らない。新しい歴史を「上書き」していくことが、双方の信頼関係を作っていくうえで非常に大事だと思います。

最近日本の教育では英語ができない子は、高校や大学への進学や就職が厳しくなるといふ社会的な仕組みづくりが始まっている感があります。このことは逆に、グローバル化に逆行している問題もはらんでい

る。先ほどDVDのなかで紹介されていたK I Sの卒業生のメッセージにあった「英語が話せることは大事だが、もっと大事なことはコミュニケーション力だ」という意味は、そういうことではないか。

姜誠 実は「越境人」という言葉を提案したのは私です。先ほど寺脇さんが言われたように「上書き」するという意味合いも含め境界を越えるだけではダメで、新しいトランスナショナルでインターナショナルな公共空間をもつ学校をイメージしました。私たちが考えているK I Sの卒業生のモデルというのは、国益だけではなく、自分の住んでいる地域ある

新しいトランスナショナルでインターナショナルな公共空間をもつ学校をイメージしました(姜誠)

いは国を超えた域内を考えられる、特に将来の東アジア共同体を担う次世代を育成したいとみんな話してきました。最後に、K I Sに向けて激励の一言をお願いします。

寺脇研 日本の学校では差別をなくすという意味を「命を大切にしよう」「差別は悪いこと」と教えたがるけれど、そうではなくて、みんなそれぞれやりたいことを認めることが重要だと思います。私と鈴木さんと朴さんとやりたいことが違うでしょう。その違いのなかで、みんな一生懸命やっていると差が生まれる必要はない。三人が同じでなければならぬ空気になっていくから、そうでない人を差別する風潮がでてくる。これをなくさなければいけないという意味なんです。

(編集責任: 広報誌「越境人」編集委員会)

